

女性研究者研究活動支援事業

杏林大学の背景・特色

- ・大学・学部運営に関わる**上位職に女性研究者を積極登用**してきた。
《杏林学園理事・学部長・研究推進センター長・女性教授30名など》
- ・**女性研究者のネットワークを構築し継続的に活動**してきた。
《女性教授・准教授の会 [医学部、平成23年度発足]、女性研究者支援WG[全学、平成25年度発足]》



坂本ロビン
外国語学部長



小林富美恵
研究推進センター長

本構想の目的

- ・男女共同参画推進室を新設する。
- ・女性研究者の上位職登用をさらに増加させる。
- ・ライフイベントと仕事の両立困難を理由とする離職者0を目指す。
- ・女子学生の大学院進学を支援し女性研究者の裾野拡大を図るとともに、研究力の向上を目指す。

取組事業：様々な組織と連携し実施

【ライフイベントやワーク・ライフバランスに配慮した両立支援】

- ・両立支援ツールの作成
- ・既存制度の積極的活用推進
- ・研究活動支援者の配置
- ・講演会等実施による意識啓発と男女共同参画の推進

【女性研究者が上位職階へのキャリア向上を目指す取り組み】

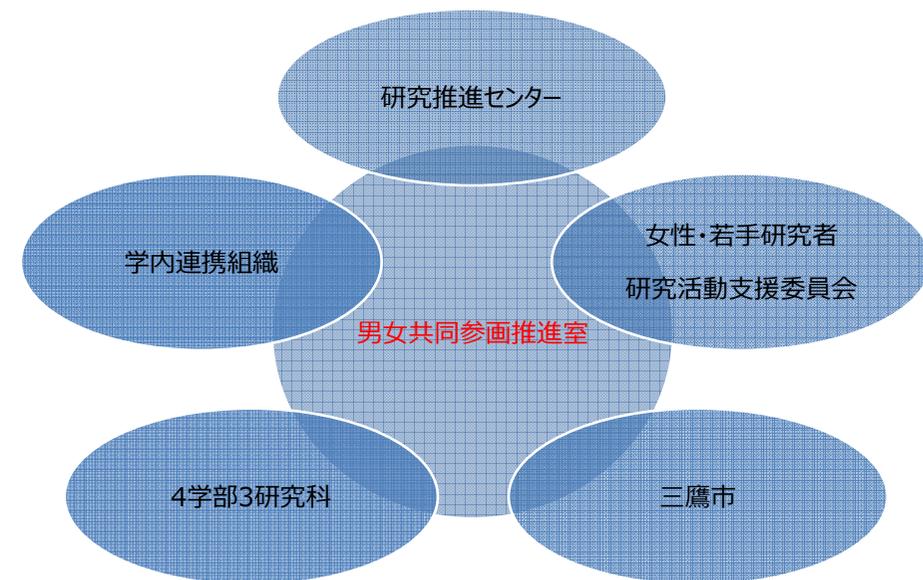
- ・女性研究者の積極的な昇進・採用計画

【女性研究者の裾野拡大を目指す研究環境の整備】

- ・ハラスメント防止策の策定・実施
- ・メンター制度の運用

【大学院博士課程に進学する女子学生を増加させる取り組み】

- ・学部教育カリキュラム改革
- ・担任制の強化と進学相談体制の拡充
- ・海外留学の促進による次世代研究者の育成
- ・交流ネットワークの構築
- ・ロールモデル集の作成



⇒ **モデルケースとなるシステム構築を目指す。**

本事業の実施体制

理事長・学長の強いリーダーシップの下、以下の体制で全学的に事業を推進していく。

- ・事業統括: **新設** 「女性・若手研究者研究活動支援委員会」(委員長=学長)
- ・運営実務: **新設** 「男女共同参画推進室」

